



INTERNATIONAL JOURNAL

(インターナショナル・ジャーナル)

2024 Winter Issue (冬号)

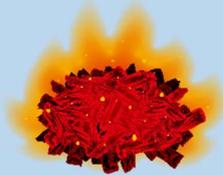
【四半期ごとに、環境について国際的な視点でご紹介します。】

農地が地球を救う！？ 4パーミル・イニシアチブって何？

4パーミル・イニシアチブとは、世界の土壌の表層の炭素量を年間0.4%(4パーミル)増加させることで、人間の経済活動によって発生する**大気中の二酸化炭素を実質ゼロ**にすることができるという考え方に基づく国際的な取組になります。

具体的にどういった取組が行われているかというところ…

果樹栽培で冬季に行われる剪定作業の際に発生する剪定枝には、植物の光合成によって炭素が貯蓄されているので、剪定枝を燃やすと、炭素が酸素と結合して二酸化炭素になり、大気中に放出されます。



しかし、剪定枝を燃やし切って**灰にするのではなく、炭にすることで**二酸化炭素の発生を減らすことができるだけでなく、微生物などによる分解がされにくくなります。

その炭を肥料のように畑にまくことで**土壌の改善**だけでなく半永久的に炭素を土壌中に留めることができ、**大気中の二酸化炭素の増加量を抑える**ことにつながります。



4パーミル・イニシアチブの考え方を取り入れた取組により作られる野菜や果物があります。こういったものを積極的に選択していくことも**気候変動対策への貢献**となります。

参考：農林水産省、山梨県

令和6年12月26日発行 印刷物登録 令和6年度第106号

東京二十三区清掃一部事務組合 清掃事業国際協力室

(Clean Authority of TOKYO, International Cooperation Department for Waste Management)

ホームページ：<https://www.union.tokyo23-seisou.lg.jp/index.html> 電話：03-6238-0572

【東京二十三区清掃一部事務組合は、海外のごみ問題に23区とともに取り組んでいます。】



Clean Authority of TOKYO



～練馬区環境研修会に参加しました～

練馬区環境課からの依頼を受けて、11月18日（月）に区民の方を対象とした環境研修会に講師として清掃事業国際協力室の職員が登壇しました。



▲研修会のようす

参加者の方は熱心に講義を聞かれていました



▲講義は職員2名で行いました

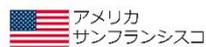
海外のごみ問題を通じて、身近なごみについて考えてもらうことをテーマに講義を行いました。

参加された区民の方からは、「ごみ処理は身近なことから行う必要があると痛感した」、「ごみ問題は、全世界的な課題ととらえ、どう資源として生かせるかが課題ではないか」、「ごみを減量、リサイクルの工夫を考えなくてはと思う」などの貴重なご意見・ご感想をいただきました。

海外のごみ処理

どんな風に違う？

分別は何種類？



大韓民国
ソウル市



一般ごみ
生ごみ
資源（紙・ガラス・金属・プラスチック）
粗大ごみ

<https://sfenvironment.org/recycling-composting-faq>

◀ 研修会で使用したスライド

環境問題に関連したクイズ ▶
も行いました！

答えはわかりますか…？

クイズ②
メタンの温室効果は二酸化炭素の何倍？
① 約5倍 ② 約13倍 ③ 約25倍

大気
メタン 温室効果ガス CO2
温室効果ガスは、熱が地球の外に出るのを邪魔してしまう！

11月出展イベント
をご紹介します！

イベント出展報告

11/2・3
渋谷区くみの広場



11/16・17
台東区環境フェスタたいとう



今後も清掃事業国際協力室では、区イベント出展や講演会などを通じて、清掃一組の国際協力の取組を発信していきます！